

第20回 MQI活動

H27年度
MQI統一主題

視点を定める



発行(公財)練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
TEL03-5988-2200(代)

H27年度MQI活動 キックオフ 推進委員長 柳川達生

MQI活動が始まりました。今年は20周年にあたります。継続は力なりと申しますが、毎年活動を向上させていかなければなりません。今年度の統一主題は、「視点を定める」です。視点を定めて日常業務を見直し、改善に取り組む必要があります。MQIでなければ複数部署にわたる業務改善の機会を作るのは困難です。今年で3年目になりますが役職者、推進委員の研修を行いました。組織的に改善活動に取り組む基盤を構築するためです。MQIの目的は業務改善、職員の業務遂行能力、管理能力の向上、部署間の調整の推進です。今年も推進委員を中心に一歩でも前進できるようにしていきます。

平成27年度 MQI 推進委員会メンバー紹介

委員長：柳川 達生 (副院長・内科医師)

副委員長：金内 幸子 (薬剤科)

事務局：小林 裕子 (質保証室)， 高梨 徹雄 (事務部/医事課)

委員：小谷野圭子 (質保証室)， 中尾和城 (臨床検査科)， 三嶋ミナ子 (5階病棟)
橋本健太郎 (リハビリ)， 田頭崇 (放射線科)， 黒田裕梨 (2階病棟)
片岡貞子 (健康医学センター)， 近藤拓也 (医事課)， 橋本瑠美 (質保証室)

今年度のMQI活動

4/16	5/16	6月～	8月～9月	11月	12/5			
キックオフ	1日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②	予演会	発表スライド ×切	発表大会	報文集作成	継続フォローの会




MQI活動がスタートしました。今年度は記念すべきMQI活動20周年です。
まず、各チームとも活動計画をしっかりと立ててください。
問題があれば早めに推進委員に相談してください！！
職員はより仕事しやすく、患者さんにはより質の高い医療が提供できるよう、
有意義な活動をしましょう。

平成26年 昨年度のMQI継続フォローの会 2015.3/2, 9, 16

テーマ・チーム名/主体部署・リーダー・サブ	現在の状況 及び 今後の活動
<p>医師と協働してプロトコルを作成し持参薬の流れを整備する (プロトコルの話をしよう！)</p> <p style="text-align: center;">薬剤科 嶋田 紘也 林 憲子</p>	<p>手術前中止薬のプロトコルを作成したことで、持参薬と入院処方指示出しに薬剤師が積極的に関与できるようになった。今後もプロトコルの活用が有用な内容を抽出し、新規プロトコルを作成していく。</p> 
<p>検体採取業務の見直し ～適切な説明・条件・採取容器～ (スぺ☆コロ)</p> <p style="text-align: center;">検査科 青木 和代 中里 光宏</p>	<p>患者さんへリーフレットを使用して説明することで、適切な検体採取を行えるようになり、検査が延期となった件数も減少した。新たに迅速簡易検査を導入する際も今回の活動に沿って手順を標準化する。</p> 
<p>インフルエンザ予防接種業務の新しい流れを構築する (NSK8)</p> <p style="text-align: center;">健康医学センター 稲葉 広美 花房 雅栄</p>	<p>予約制にしたことで診察・会計の待ち時間を短縮することが出来た。今後は予防接種の受付日時を医師へ周知し、診察と同日に接種希望の患者さんは予約時間の調整を行い、スムーズに受診を回れるようにしていく。</p> 
<p>緊急内視鏡検査のフローと体制の確立 (アップル)</p> <p style="text-align: center;">内視鏡 喜多 哲史 栗原 直人</p>	<p>緊急内視鏡を受ける体制が充実し、件数は増加している。今後はさらに件数を増やしつつ、安全で質の高い緊急内視鏡が出来るように職員の教育とマニュアルの整備・改訂をしていく。</p> 
<p>入院患者のサルコペニアを予防し早期に歩いて自宅退院を目指す (美食倶楽部)</p> <p style="text-align: center;">NST 栗原 直人 遠藤 翔</p>	<p>今回の活動で、患者の年齢・入院期間には関係なく、患者の努力により運動能力は維持できることが分かった。今後は、消化器外科患者を対象にサルコペニアを予防し、退院後に入院前と変わらない日常生活へ戻れるようにセルフトレーニングをサポートする体制を作っていきたい。</p> 
<p>HCU稼働に向けて運用方法を検討する (ハイケアピラミッド)</p> <p style="text-align: center;">看護部 塚本敦子 宮地幸子 富合麻里</p>	<p>200号室への入室基準と救急外来・各病棟からの入室業務フローを作成し、救急外来からの入院振り分けの判断がしやすくなった。空床状況によっては業務フロー通りの運用はできないので臨機応変に対応していく。</p> 

平成27年度「1日で計画を立てる会」2015.5.16

今年度のMQI参加チーム紹介

テーマ	「インフルエンザ患者の動線の見直し ～受付から会計～」	「地中海スコアを使って 健康になる」	「緊急を要する心臓カテーテル 検査・治療の体制整備」
主体部署	臨床検査科	糖尿病センター	放射線科
チーム名	花セレブ	オリーブ	TEAM新潟
リーダー	中西 真奈美 (臨床検査技師)	早川 かほる (管理栄養士)	圓山 隆昭 (診療放射線技師)
サブ	中里 光宏 (臨床検査技師)	松田 英士 (内科医師)	松尾 道暁 (診療放射線技師)
			

テーマ	「当院の周術期管理を エビデンスに基づき見直す」	「内視鏡件数増加にともなう 検査体制の再構築」	「胃瘻増設・管理の体制再構築 -VE/VFの評価の組み入れ-」
主体部署	薬剤科	内視鏡センター	NST委員会
チーム名	SSI WARS ep2～周術期管理の覚醒～	アップル	美食倶楽部
リーダー	林 憲子 (薬剤師)	喜多 哲史 (臨床検査技師)	栗原 直人 (外科医師)
サブ	植竹 緑 (薬剤師)	栗原 直人 (外科医師)	山下 真希 (理学療法士)
			

テーマ	「術前準備の流れを見直す」	「健診センターの 施設利用率を高める」	<p>全員で63名が 参加しました</p> <p>今年度の活動を 行うにあたり 各グループ共に 大変、貴重な討論が できました</p> <p>最後まで、気を抜かずに 頑張る有意義な 活動にしましょう</p>
主体部署	看護部	健康医学センター	
チーム名	オペ出しなんてこわくない！	かがやき1号	
リーダー	永利 由紀子 (3階病棟助産師)	三上 裕子 (健診センター事務)	
サブ	浦山 望 (2階病棟看護師)	酒本 靖子 (健診センター事務)	
			

1日で計画を立てる会 開催風景

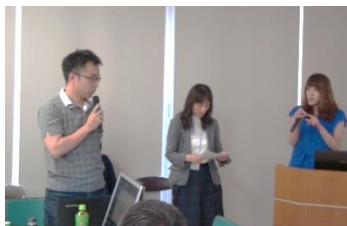


5月16日に63名が講堂に集まり、
チームメンバーで活動について話し合いました

つかの間のお昼休み・・・



発表の皆様お疲れさまでした！

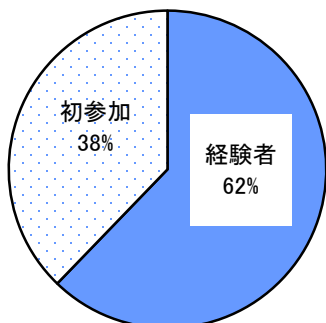


例年よりも活発な質疑がありました！

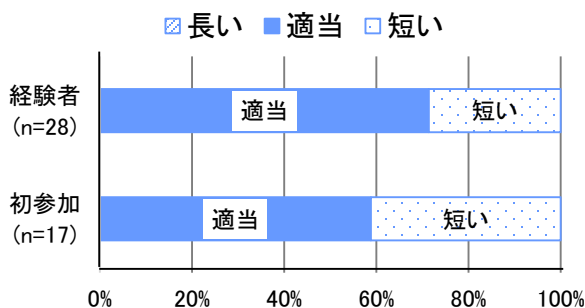
5月16日「1日で計画を立てる会」アンケート結果

(回収数45枚 回収率71.4%)

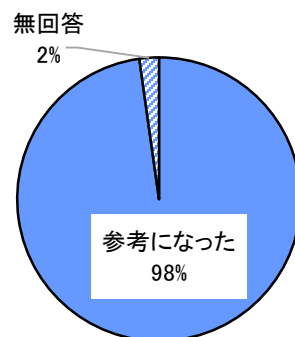
Q1 これまで1日で計画を立てる会に参加したことがありますか



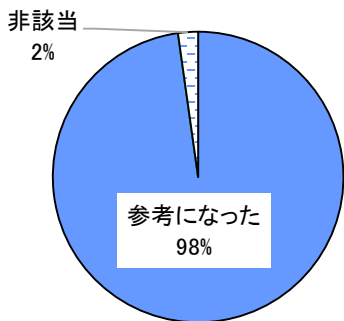
Q2 グループ討論の時間



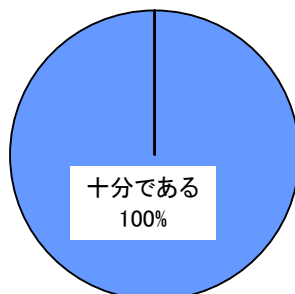
Q3 他チームの発表を聞いて



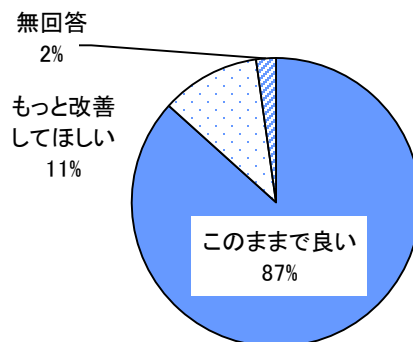
Q4 自チームに対する意見や質問



Q5 グループワークに入る前の全体説明



Q6 来年もこのような会を開催する場合



【Q6 来年もこのような会を開催する場合で、もっと改善してほしいと答えた人の具体的内容】

- ・メンバーが決定してから当日までの時間がないのでもう少し後にしてほしい
- ・グループ討論の時間をもう少し取ってほしい
- ・ここ3～4年、発表大会において1～3位がいつも同じ部署、チームになっている気がする。そのことに対して、他チームの順位を上げるためのテコ入れはしないのか？

【その他意見】

- ・色々な意見を聞きすぎて混乱した。意見を言うだけでなく、こうした方が良いのではとの意見があれば参考になったと思う
- ・質問も大事だが、30分近く延びると後のパートが厳しい
- ・外部からも(東邦大長谷川先生や模コンサルタント)参加して頂きたい。医師の参加をもっと促してほしい
- ・定義書を書く期間がもう少し欲しかった。5月の連休を挟むと時間がないと思う